

科目区分	専門基礎分野		授業科目	治療論
講師名	吉田 弘太郎(4) 水野 綾花(4) 笠江 千尋(4) 渡邊 直美(3) 中田 健(2) 當田 晶子(4) 野崎 心(8)		開講年次	1 年次 第 2 学期
単位数 (時間)	1 単位 (30 時間)			
授業概要 * 講師からのメッセージ				
目的：健康回復を促進する治療法を理解し、看護実践に必要な知識を学ぶ。 目標： 1. 麻酔と周手術期の全身管理の基礎を理解する。 2. 心肺蘇生法について理解する。 3. 重症外傷、重症熱傷等救急医療について理解できる。 4. 画像診断の基礎を理解する。 5. 放射線治療を受ける患者の看護実践に必要な知識を習得する。 6. リハビリテーションの基礎と看護実践に必要な知識を習得する。 7. がん化学療法を受ける患者の看護実践に必要な知識を習得する。				
回	授 業 内 容			
1	手術療法	1. 外科看護の基礎 手術侵襲と生体反応 2. 外科的治療の実際 外科的基本手技 1) 切創 2) 縫合 3) 抜糸 4) 止血 5) 胃管チューブの挿入		
2		3. 麻酔法 1) 麻酔とは 2) 麻酔の種類 3) 術前管理（問診と診察、術前身体的評価、精神的ケア、経口制限、術前輸液、内服薬の中止等）4) 術中管理（術中モニター、体位） 5) 全身麻酔（気道の確保、麻酔導入法） 6) 局所麻酔		
3		4. 呼吸管理 5. 体液管理（手術期の輸液管理） 6. 外科手術における栄養管理 7. 輸血療法		
4		8. 術後管理（術後疼痛管理、ドレーン管理） 9. 術後合併症発生機序 10. おこりやすい術後合併症の予防と発症時の対応		
5	救急法	1. 救急医療体制 2. 医療施設内の救急部門 3. 救急患者の対象の理解 4. 主要病態に対する救急処置と看護 1) 救急処置法の原則（救急処置の A B C、バイタルサインの評価、意識障害の評価、感染防御、B L S、A L S、小児の心肺蘇生）		
6・7		4. 外傷への対応 5. 熱傷への対応 6. 中毒への対応 7. 溺水への対応 8. 刺咬症への対応		
8	放射線療法 （画像診断）	1. 画像診断 1) X線診断 2) C T 3) M R I 4) 超音波検査 5) 各医学検査 6) I V R・血管造影		
9	放射線療法 （放射線治療）	2. 放射線治療総論 1) 放射線治療の原理と基礎 2) 放射線治療の特徴と目的 3) 照射法種類 4) 放射線治療各論 ①脳腫瘍 ②頭頸部がん 等 3. 放射線防護		
10	リハビリ テーション	1. リハビリテーション概論 2. リハビリテーション医療の提供		
11・12		3. リハビリテーションの実際 1) 廃用症候群の予防 2) 他動的関節可動域運動 ＜演習含む＞ 3) 筋力増強運動 ①等尺性運動（大腿四頭筋セッティング）②等張性運動 ③松葉杖歩行＜演習含む＞		
13		4) 日常生活援助（作業療法）1) 更衣 2) 整容 3) 食事（自助具の選択）		
14 15 (45 分)	がん化学療法	1. がんの治療 薬物療法 2. 化学療法の治療計画について（レジメン） 3. がん化学療法の実際 4. 高齢者に対する化学療法 5. 入院化学療法と外来化学療法 6. チームアプローチの調整		
16	終了試験 45 分			
授業方法	講義			
評価方法	筆記試験 100 点満点			
テキスト	医学書院：系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院：系統看護学講座 別巻 救急看護学 医学書院：系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院：系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院：系統看護学講座 別巻 がん看護学			
備考				

